

## 24番 岡元浩一 議員

## 1 日本遺産登録に向けた取組について

- (1) 市長は令和元年9月定例会の初日に、「吾平山上陵を日本遺産への登録を目指し」として取組を支援すると述べられたが、その具体的な支援策と結果について示されたい。

## 2 農家所得向上策について

- (1) 市長公約で、農業に従事する方々は「大きな夢」を持つことができたが、公約の進捗状況と成果及び課題を示されたい。
- (2) 公益社団法人「鹿屋市シルバー人材センター」が農家（農業法人含む。）への派遣労働者賃金を上げたことが、農家の経費負担増につながっている。当該団体との連携と農家支援を考慮すべきではないか。

## 3 鹿屋市国土強靱化地域計画について

- (1) 本定例会初日に、市長は『大規模な自然災害が発生しても機能不全に陥らない「強さ」と速やかに回復する「しなやかさ」を持つ、安全・安心な地域の構築に取り組む』と述べられた。この件に関する市長の考えを示されたい。

## 4 防災に係る県との連携の在り方について

- (1) 7月から降り続いた降雨により大きな災害が今年も発生した。以下について具体的な防災対策を示されたい。
  - ① 上野町の山林に大雨でできる「池」の下には数十戸の住宅がある。5年前から鹿児島県に要望しているが、早急な対策を示されたい。
  - ② 平成19年以来、横山町から水害対策の相談や要望を行っている。山腹の一部は県が対処を終えているようだが、市の事業はいまだに未着手である。「いつ取り組むのか」示されたい。

## 24番 岡元浩一 議員

## 5 市道及び農道の維持管理について

- (1) 市道「田淵雪松線」は一部の舗装と側溝新設を終えたまま完了していない。延線については、10年以上手つかずの状況であるが、市民との約束事は、いつ終わるのか示されたい。
- (2) 産業振興のために、側溝等の新設を要望する際に「町内会長への承諾」を求める理由を示されたい。

## 6 指定管理者制度について

- (1) 近年、指定管理者の「在り方」について疑問を抱くことがある。経済環境の変化やコロナ禍における生活様式の変化に対応するために、制度そのものを見直す機会にあると考えるが、市長の考えを示されたい。
- (2) 「鹿屋市交流センター湯遊ランドあいら」について
  - ① 平成20年以降の指定管理者数と指定管理料の推移及び修復・修理に係った市負担の経費総額について示されたい。
  - ② 設計上の問題点と今後の維持管理費の見通しを示されたい。  
また、指定管理者の選定を急いだ理由の整合性を示されたい。
  - ③ コロナ禍の本年3月の契約にもかかわらず損失補償するために、予算を執行することの権限と責任を明確に示されたい。
  - ④ 当該施設は過去から現在に至るまで、様々な問題を抱えてきた。一度、直営で行い「施設の在り方等」検証を行う必要性の可否を示されたい。

## 7 大隅肝属広域事務組合について

- (1) 大隅肝属広域事務組合の管理する火葬場「きもつき苑」に係る鹿屋市の負担金額と割合を示されたい。
- (2) 公益性の非常に高い事業を広域事務組合の事務事業としているが、鹿屋市や地域にとって、大事な業務である。不測の事態の対処法を示されたい。

24番 岡元浩一 議員

8 ゴミ収集事業について

- (1) 鹿屋市は塵芥収集業務を鹿屋市一般廃棄物処理協同組合に業務委託しているが、ゴミの減量化に向けて連携を強く図る必要がある。近年、収集時間に大きな変動があるが、委託料の整合性や業務管理など、どのように関わっているか示されたい。